

令和2年度 第7回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和3年1月26日(火) 17:00～18:00

【場 所】 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

【出席者】 12人(15人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	○
副会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
委員	相原 雄太		委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	○
委員	東 幸子	○	委員	今 光江		委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	八木沼 英晃	

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企 画 経 済 部 ～芳賀主査・瀧坪主任

厚 田 支 所 ～東支所長・相原 根副課長兼厚田生涯学習課長

地域おこし協力隊 ～江崎隊員・吉川隊員

事務局(地域振興課) ～高田課長・佐藤主査

【傍聴者】 1名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 情報交換(リラックスタイム)
 4. 報告事項
 - ・厚田区地域おこし協力隊の募集要項について
 - ・市からの情報提供
 5. その他
 6. 閉会

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

開会の前に、本日、今委員が欠席という連絡を受けているので報告する。市職員も厚田支所から4名、本庁から2名、協力隊2名と、コロナ禍という状況から若干数を減らしての出席となっているのでご了解したい。

それでは、只今から第7回厚田区地域協議会を開催する。初めに築田会長から挨拶を申し上げる。

2. 会長挨拶

【築田会長】

今年最初の会議となる。改めて新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います。中々コロナが収束しない状況で、今年の1月は雪も多く寒さも一際厳しい。皆さんも除雪に苦労していることと思う。天候に左右される時期なので、委員の皆さんも健康には気を付けていただきたい。

それでは早速始めたい。

3. 情報交換（リラックスタイム）

・年越し企画厚田三角揚げうどん（協力隊 吉川隊員企画）～揚げの中身がうどんだけと思ったが、薬味なども入っていて美味しかった。今後商品として売ることがあれば是非購入したい。（平賀委員）

・切り絵体験（協力隊 飯塚隊員）～小学生以来の切り絵をやった。道の駅に飾られてきれいだった。また機会があればやりたい。商工会女性部の研修でもやりたいと協力隊にお願いした。（東委員、大内委員、小山委員）

・厚田の稲でリース作り（協力隊 秋葉隊員企画）～当日は天候が悪く開催できるか心配だったが、女性7、8人集まり楽しんで作った。玄関先に飾って正月を迎えた。（森田委員、小山委員）

・鳥インフルエンザの状況について（飛ぶ鳥農場）～四国、九州、本州で出ている。600万羽以上が殺処分されていて大変な事態。自分のところにも先日まで毎日FAXが届く状態だった。基本的にゲージ飼いの養鶏場で発生しており、（自分のところのような）平飼いでは出ていない。強いニワトリを作っているという自信もあるが、対策は万全に行っている。コロナ禍も重なって大型養鶏場は大変だと思う。（角野委員）

・鯿漁の状況について～先日200kg獲れた。型は大きいという話を聞いている。本格的な漁はこれから。（平賀委員）

・厚田学園・CSについて～コロナ禍で延期されていた厚田学園開校式を12/5無事開催出来た。子どもたちが新しい校歌を元気に披露した。CSでは1/14地域の皆さんに協力いただきスキー学習用の雪山づくりを行った。その他、本日、石狩市教育委員会表彰式があり、9年生の生徒が児童生徒芸術文化功績章を受章した。（丸山委員）

・みよし園にベトナムから技能実習生2名が来た。昨年来る予定だったがコロナ禍で1年延びていた。見かけたら声をかけていただきたい。（渡邊委員）

4. 報告事項

厚田区地域おこし協力隊の募集状況について

【築田会長】

厚田区地域おこし協力隊の募集状況について、事務局から願います。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

※資料：完成版要項及びチラシ

12月24日から2月26日までの期間で募集を開始した。募集要項の最終版とチラシをお配りした。チラシは北海道庁、札幌市役所、大通りの他、石狩市東京事務所を通じて、首都圏に配布。その他市ホームページ、協力隊フェイスブック、協力隊専門の募集サイトJOIN（ジョイン）等で募集周知を行っている。現在のところ申し込みはまだ無いが、問い合わせが1件有り。委員の皆さんも周知できるルートや思い当たる方がいればPRいただきたい。

市からの情報提供等について

【 築田会長 】

市からの情報提供について、事務局から願います。

①石狩市（厚田区・浜益区）地域おこし協力隊の活動パネル展示について

【 （厚）地域おこし協力隊 江崎隊員 】

※資料：チラシ（案）

昨年度3月を目途に企画するもコロナ禍のため中止とした経緯がある。今年も状況は同じであり従来のような多くの方を集めての報告会は出来ないと考え、これまでの活動をパネルで紹介したいと考えている。是非多くの方に見ていただき協力隊の活動を知っていただく機会としたい。

厚田区での展示は3月1日から14日まで。会場は道の駅2階。終了後、浜益区、石狩市民図書館でも実施する。2月中旬、本日お配りしたチラシを厚田区内に回覧する予定なので、ぜひ道の駅まで足を運んでいただきたい。

②集落支援員制度検討委員会の検討状況について

【 （厚）地域振興課 佐藤主査 】

※口頭で説明

令和2年8月26日、第1回目の検討委員会を行って以降、1月20日までに9回の検討委員会、先進視察1回、11月24日から12月18日にかけて、区内地域振興団体との意見交換を8回行ってきた。現在、事務局において最終的な纏めに入っており、3月の地域協議会で改めて経過報告と導入の是非について答申する予定。その際は委員皆さんからご意見を頂戴することになるので、よろしく願います。

③あつたかニュース第17号について

【 （厚）地域振興課 佐藤主査 】

※口頭で説明

2月末に発行（3月号として）する予定。現在、編集委員で原稿作成に取り掛かったところ。本日、協議会終了後に編集委員会を実施する。

④冊子ATSUTAツアー vol16、vol17について

【 （厚）地域振興課 高田課長 】

※ATSUTAツアー vol16、vol17配付

地域おこし協力隊の飯塚隊員が取り組んでいる活動として、厚田区の食や人を中心に厚田の魅力を発信する冊子を毎月発行している。当初よりだんだん見やすくなり、読みたくなる冊子になっている。委員の皆さんも中身を見ていただき、大いに宣伝して欲しい。

【 築田会長 】

事務局から情報提供があったが、ここまでで何か質問等はないか。

（委員より特になし）

話題提供について

【 築田会長 】

次第にはないが、事務局から話題提供があるので願います。

【 （厚）地域振興課 佐藤主査 】

※資料：「田園回帰」に関する調査研究報告書 抜粋、新しい暮らしの方法「二地域居住」・推進の取組事例集

都市部から過疎地域への移住・定住のデータについて情報提供したい。資料は平成30年3月に総務省から出された「田園回帰」に関する調査研究所のデータから抜粋したもの。A4の表裏。若干古いかもしれないが、新型コロナウイルス感染症が拡大している現在、地方への関心がより高まっているのではないかと思う。表面は都市部から移住者が増加している区域の数。平成12年から22年と、平成22年から27年との比較。都市部から過疎地域への移住者が増加した区域が、108から397に増えているというグラフになる。裏面は、移住・定住者が増えた地域において、行政単独ではなく、行政以外の支援実施主体が活動している区域で、どのような取り組みを実施しているかというグラフ。NPO法人や、自治会・町内会をはじめ、地域団体などが関わっているケースが多く、そういった取り組みがうまく機能しているところが結果的に移住・定住者が多いということ。

また、地域おこし協力隊も、移住・定住に関する取り組みに関わっていることが多く、それらが総合的に効果をあげて移住定住に繋がっていることと思う。

もう一つ、新しい暮らしの方法として、「二地域居住」についてご紹介したい。簡単に言うと都市部と地方を行き来し、生活の拠点を二つ持つ生き方。

「田舎暮らしをしてみたいが、いきなりの移住には不安やハードルが高い」といった人たちが「平日は仕事の拠点がある都市部で生活し、週末や休日になると田舎のもう一つの拠点で過ごす」という生活で、地方部にとっても、週末だけでも拠点として生活してくれる人が来ることは町の刺激や活性化につながるというメリットがあるとされている。こういう人にとっては「移住」に比べると地域との関りも薄くなるので、人間関係のハードルが下がるということが言われている。ただし実際に二地域居住を行っている人たちの話として、必ずしも人間関係のハードルが下がる、ということはないという意見も見られる。いずれにしても、いきなり移住、というよりは「田舎暮らし」をやってみたいという人にとってはハードルが低いのではないかと思う。お配りしている国土交通省で出されている「取組事例集」を、後ほど目を通していただければと思う。いずれにしても二つ目の拠点にできる場所、住居が必要であり、自分で家を建ててまで、ということにはならないと思うが、空き家の活用方法の一つとして、このような思いのある方に貸し出すなどが出来れば、本格的に居住しなくても地域としてはメリットがあるかもしれないし、将来的に移住につながる可能性もある。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、20代、30代においても地域、田舎暮らしへの関心が高まっているというアンケート調査の結果もあり、定住にこだわらず、まずは厚田に来てもらうきっかけ作り、そのために応援できるような仕組みづくりを、行政と地域の方々が協力、連携して取り組む必要があるのではと考え、まずは話題提供ということでお話をさせていただいた。

【 築田会長 】

今の話題提供について何か質問があればお受けしたい。

(委員より特になし)

5. その他

【 築田会長 】

今回の協議会についてだが、特に協議すべき議題が無い。3月は集落支援員制度について協議しなければいけないが、2月についてはコロナ禍ということもあり休会し、次回3月でどうかと思うが、委員全体で諮りたい。

(委員より意見なし)

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

次回の日程については、2月は休会して3月24日(水)17時00分から、厚田総合センター2Fホールで提案させていただきます。

【全委員】

全会一致で提案どおり承認。

6. 閉会

【築田会長】

この後、「あったかニュース」の編集委員会も予定されているということなので、今日はこれで終了する。委員の皆さんお疲れ様でした。

○次回の日程について

令和3年3月24日（水）17時00分～ 厚田総合センター2Fホール

令和3年2月26日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長

築田敏彦